

地域活動

Q&A

地域活動の中での悩みや相談事について、当協会に寄せられたご相談や事例のなかから、ちょっとヒントになりそうなことを挙げてみます。

「地域にこんな問題があったけど、うちの地域ではこうやって取り組んだよ」といったアイデアがありましたら、ぜひ「まちむら」にお寄せください。皆さまからの情報お待ちしております。

■自治会活動を元気にしたい

Q 自治会活動を元気にするにはどうしたらよいですか？

A 昔を振り返ると、高度成長期には道路整備が追い付かず、歩きにくい道を自治会が砂利を敷くようなことにも取り組んでいました。やがて行政が道路の維持管理を一元的に担うようになると自治会の活動は別の住民のニーズに応えるもの変わってきました。

ある自治体の調査によれば、自治会の役割として、防災、子どもの見守り、高齢者の見守りなど、地域福祉や防災活動への期待が大きくなっています。

なかでも近年、想定外の自然災害が増えています。ある地域では、行政のハザードマップでも認識されていない地域まで、台風による浸水被害を受けたことがあります。

その時、自治会としてまず状況判断を重視して、遠くの避難所に向かうより、自宅2階への避難を呼びかける現場の声を携帯電話で配信しました。また災害後には、災害ゴミの収集場所の確保やゴミ撤去活動を取りまとめ、町内のボランティアの情報を

などを共有できるようにメールの配信も行いました。

こういった自治会の自主的な活動によって、新たに自治会に加入する住民が続出し、自治会が元気になってきたそうです。

地域住民が困っていることを把握して、自治会活動の軸を向けて活動していくことが、地域の新しい人材の発掘にもつながると思います。

■事務所がないので困っています

Q 地域住民の相談を受ける活動を立ち上げたと思っていますが、事務所もなく、対応する当番の人も必要かと思いますが予算がありません。何か良い方法はないでしょうか？

A ある地域では、事務所がない状況の中で、まず携帯電話を1台購入しました。今日は私、明日はあなた、明後日は…というように当番を持ち回り。1日平均3件の相談を受けているそうですが、事務所がなくとも当番の人が自宅で電話が鳴った時に対応することができているとのこと。スタッフの費用もかからず金銭面の負担も少ないので、活動が無理なく継続できているそうです。